

平成30年度決算報告

町の家計簿をお知らせします

平成30年度の神崎町一般会計と特別会計、企業会計の決算が9月定例議会で認定されました。皆さんが納めた税金や、国・県からのお金が多岐にわたる町に入り、どのように使われたかを知っていただくために、ここでお知らせします。

一般会計の決算は、前年度と比較すると、歳入は減少、歳出は増加となりましたが、決算収支については黒字決算となりました。

平成30年度は、町道神宿松崎線及び毛成堀籠線整備事業や給食センター設備更新など、投資的

事業を中心に実施しました。今後も、「発酵の里・健康笑顔のまち こうざき」の実現に向けた町づくりを進めていくために、より安定した財政基盤の確立を目指して、さらに効率的な行財政運営に努めていきます。

一般会計

歳入

歳入総額は、27億9,026万9千円（前年度比0・1%減）、歳出総額は、26億3,686万3千円（前年度比0・9%増）で、歳入から歳出を差し引き、さらに翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、1億3,746万8千円となりました。

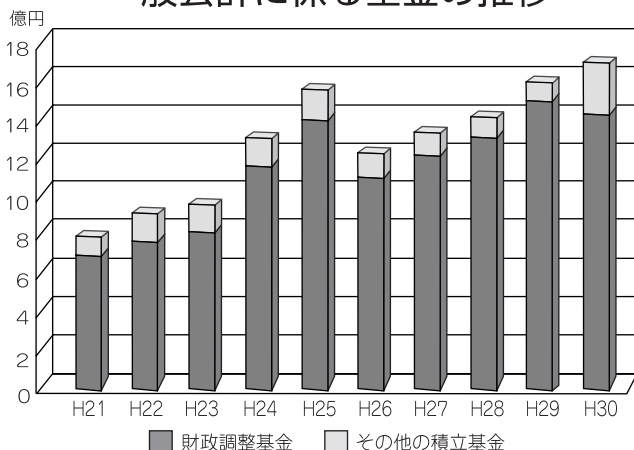
歳出

完了などに伴い、前年度に比べ7,708万6千円（21・5%）の減となり、町債についても1,294万1千円（11・3%）の減となりました。

地方交付税（国から町へ交付されるお金）は9億5,972万2千円で、前年度に比べ8,68万円（0・9%）の増となりました。地方交付税と町税で歳入全体の61・1%を占めています。

歳出を性質別に見ると、人件費、補助費、物件費、公債費や扶助費などの経常的経費が19億4,228万1千円（前年度比2・0%増）で、全体の73・7%を占めています。道路や公共施設の整備などを行うための投資的経費は2億1,122万1千円（前年度比19・1%増）で、全体の8・0%を占めました。

一般会計に係る基金の推移



平成30年度に実施した主な事業

- ・町道神宿松崎線及び毛成堀籠線整備事業
(測量調査設計業務) 3,974万円
- ・給食センター食器洗浄機更新事業 1,904万円
- ・米沢保育所乳児室増築事業 1,075万円

